

少子高齢化・地域経済の疲弊・観光客の減少  
 ～「町内観光の創出」と「町内消費の活性化」ための  
 デジタル地域ポイントアプリケーション「うぐいす」の制作及びイベントの実施～

指導教員 石川工業高等専門学校 電子情報工学科 准教授 越野亮  
 参加学生 高橋和加奈・夏嶋里帆・長谷川樹・坂口奈々美・石野雄大・太島実穂

## 1. 活動の成果要約

中能登町で、デジタル地域ポイントアプリの開発を行い、それを使ったイベントを開催しました。アプリケーションは、起動後にカメラで二次元コード（ポイントを貯める用または消費する用）を読み取ることで、ポイントを貯めたり消費したりすることができる Web アプリケーションです。アプリケーションでは、中能登町やイベントのお知らせ、ポイント使用履歴などの閲覧、ユーザー情報の設定ができます。イベントは、親子で楽しむデジタル地域ポイントの実証実験と、地域の魅力を再発見するための謎解きイベントで合計 2 回開催しました。

## 2. 活動の目的

中能登町では、子育て世代とその子どもたちを対象に「町内観光の創出」と「消費の活性化」を目標としています。新しいサービスを提供する際には、デジタル化することで、親しみやすく、提供者側も管理や配布がしやすく、紙ではできないことができると考えています。そのため、デジタル技術の活用と実証実験を目的としています。

## 3. 活動の内容

### 3. 1 アプリケーション開発

3 月：中能登町内で、フィールドワークとヒアリングを実施しました（図 1）。

3 月～：中能登町役場とオンラインで意見交換を行いながら、アプリケーションの開発に詳しい方々と意見交換を行い、アプリケーションを開発しました。

6 月：中能登町の町長を訪問し、開発したアプリを説明しました。6 月 24 日には、北國新聞に掲載されました（図 2）。



図 1 フィールドワーク



図 2 2022 年 6 月 24 日北國新聞朝刊

※北國新聞社から記事使用許可を得ています

### 3. 2 アプリケーションを活用したイベントの開催

8月：道の駅「織姫の里なかのと」で、親子で楽しめる二次元コード探しイベントを開催しました。チラシ（図3）を作成し、中能登町で配布し、1日目にアプリケーションの使い方やイベントについての説明会を開催しました（図4）。また、8月2日には北陸中日新聞に掲載されました（図5）。2日目以降は実証実験として二次元コード探しや一定ポイントと商品券の交換を行いました。実証実験期間終了後にはアンケートを実施し、地域内での買い物やアプリケーションについて調査しました。8月23日には石川高専で開催された学校説明会で、本事業の取り組みをポスターで紹介しました（図6）。



図3 実証実験イベント・募集チラシ



図4 説明会の様子



図5 北陸中日新聞（2022年8月2日朝刊）

※中日新聞社から記事使用許可を得ています



図6 学校説明会で用いたポスター

11月：旧久江小学校で、謎解きイベント「クエクエスト」を開催しました（配布チラシ：図7）。中能登町と小学校を絡めた謎を掲示し、全ての謎が解けた参加者には、町内一部店舗で使用できる商品券を配布しました。後日、その使い道についてアンケートで調査を行いました。11月16日には、日経産業新聞の高専生向け特別版に、中能登町の取り組みが掲載されました（図8）。



図7 クエクエストのチラシ



図8 日経産業新聞（11月16日）

※日経産業新聞社から記事使用許可を得ています

#### 4. 活動の成果

##### 4.1 第1回実証実験アンケート

① 全体を通して、実証実験イベントは楽しかったですか？

	件数 (%)
楽しかった	8 (100%)
どちらでもない	0 (0%)
楽しくなかった	0 (0%)

② 今回の実証実験イベントの中で、中能登町の魅力を知る、又は気づくことができましたか？

	件数 (%)
はい	8 (100%)
どちらでもない	0 (0%)
いいえ	0 (0%)

③道の駅でのポイントゲット用二次元コードの設置場所はいかがでしたか？

	件数 (%)
簡単すぎた	0 (0%)
丁度よかった	8 (100%)
難しすぎた	0 (0%)
どれでもない	0 (0%)

④ご意見・ご感想（自由記述）

小学3年生の息子が本当に楽しかったようで目をキラキラさせながら、参加していました！中能登町全体がスタンプラリー（今回のアプリでポイントゲット）になると、楽しいだろうなと思いました。観光客もよろこびそう。実証実験イベントを通じて、親子で中能登町の特産品や道の駅のことを知ることができて良かったです。子供と楽しみながら参加できてよかった。また、ぜひ企画してください。楽しい企画、夏休みの思い出作りとなりました。ありがとうございました。

## 4. 2 第2回実証実験アンケート

①全体を通して、イベントは楽しかったですか？

	件数 (%)
楽しかった	15 (93.8%)
どちらでもない	1 (6.2%)
楽しくなかった	0 (0%)

②今回の実証実験イベントの中で、中能登町の魅力を知る、又は気づくことができましたか？

	件数 (%)
はい	10 (62.5%)
どちらでもない	5 (31.3%)
いいえ	1 (6.2%)

③ご意見・ご感想（自由記述）

こんなイベントを増やしてほしいです。開催場所も良かったし企画も楽しかったです。  
 頭を悩ませながら問題を解いて町のことも知ることができ、最後に食事券まであたり最高です🎵  
 とても楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。  
 楽しいイベントを企画していただきありがとうございました。  
 スタッフの方々が優しくヒントを教えてもらいながらなんとか謎解き出来ました。  
 このようなイベントへの参加は初めてでしたが、面白かったです。  
 時間をかけて、準備してくださったのが本当によくわかりました。  
 また、来年にでもこんな親子が楽しめる企画があったら嬉しく思います。  
 剣棒のプレゼントや寸劇、クオリティが高い謎解き（ちゃんと中能登町のキーワードが入った答えもよかった）、子供達も楽しみながら真剣に参加できました。

## 5. 次年度の計画

本年度の事業では、デジタル技術を活用したイベントや地元の特産品を使って、親子でも楽しめる工夫ができることが確認できたため、来年度以降も引き続き実施していきたいと思います。また、学生と子供たちの交流は地域の活性化に大きく貢献すると考えられるため、可能な限り連携していきたいと考えています。（活動予定）かかしの郷プロジェクト 夏休みかかし作りイベント

## 6. 活動に対する地域からの評価

本年度の事業では、道の駅「織姫の里なかのと」、イベント協賛店、そして久江区民と連携して進めてきました。特に、お店については、親子の利用者が増え、お店のにぎわいが創出されることにつながったとの声が聞かれました。また、久江区については、廃校となった旧久江小学校に、久しぶりに子供たちの元気な声がこだまし、かつての小学校がよみがえった感覚を味わい、感動したとの声が聞かれました。

## 企業との連携

株式会社計画情報研究所は、中能登町からの「未来技術社会実装アクションプラン策定業務」の受託事業者であり、中能登町のデジタル課題を理解し、今後の取り組みに熟練した企業です。そのため、本事業の主旨やポイントについて意見交換をしながら取り組むことができ、目的を共有した成果を得ることができました。また、同企業は実証実験参加者や地域のボランティアスタッフとの親交もあったため、イベントの運営を円滑かつ効果的に行うことができ、感謝いたします。